

\* 今月号は私が担当しました。



営農経済 渉外係  
高橋 優太  
〔榎挽・本郷地区、畜産等担当〕

## アザミウマについて

今回は、作物の栽培をする際に、被害を与える害虫の代表格であるアザミウマを紹介します。

### アザミウマとはどんな虫か？

アザミウマは海外からの侵入害虫で、日本だけではなく世界中に生息し、世界規模で厄介者とされています。

体長は1mm～2mmくらいで、色は茶色や黄色、黒色です。（冬場は太陽光を集めるために黒っぽくなるという説があります）

成虫は狭いところを好み、身を守るために隠れています。果実のヘタ・花のつぼみ・葉裏の葉脈など、植物の細胞が次々に新しくなるおいしいところを狙っています。

### 生活サイクル

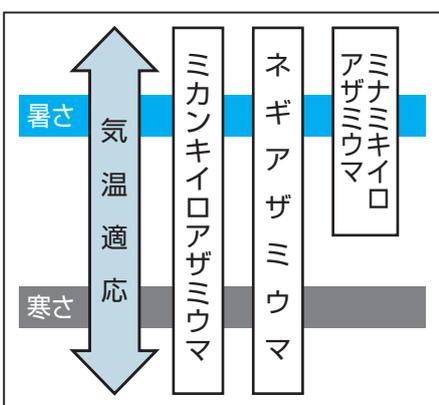
アザミウマは、卵↓幼虫↓蛹↓成虫の順に成長し、今年の夏のような高温環境下では繁殖スピードは低下するものの、概ね2週間～3週間程度で卵から成虫になります。

成虫は産卵管を葉に突き刺し、葉の中に1つずつ卵を産みます。

ふ化した幼虫は葉裏に寄生し吸汁します。その後地表へ落下し、乾燥を避けるため、また、敵に捕食されないようにするために土の中で蛹（さなぎ）になります。葉の中や土の中にいる間は農薬をかけても効果は期待できません。

### 当JA管内での主なアザミウマ

国内に40数種類いるアザミウマの中でも当JA管内では、ミカン



キイロアザミウマ、ネギアザミウマ、ミナミキイロアザミウマが目立ちます。

ネギアザミウマは何でも食べる雑食性で、ミカンキイロアザミウマも雑食性ですが、アブラナ科は食べません。ミナミキイロアザミウマはナス科、ウリ科が好物です。

### アザミウマ×雑草Ⅱ ウイルス病!?

アザミウマはそれ自体の食害による被害も重大ですが、ウイルス病を伝染した個体による、ウイルス病の伝染にも注意しなければなりません。

害虫がウイルス病を伝染する方法は主に二通りあり、既に感染している農作物を吸汁するか、ウイルスを伝染している雑草を吸汁するパターンです。

どちらの方法でも、害虫が一度伝染すると、その虫は死ぬまで、もしくは長期間伝染し続けます。

ウイルス病は細菌性病害と同じく治療する方法が無いので、発生源を減らすために圃場周辺の除草や抑草など、ウイルスを伝染する雑草への対策が重要です。

営農支援課では皆様の営農の一助になるようアドバイスを行っています。お気軽にご相談ください。

### アザミウマ類に登録のある農薬の一例

2018.7月現在の登録内容

| 作物   | 商品名       | 農薬の系統           | IRACコード |
|------|-----------|-----------------|---------|
| キュウリ | ベストガード水溶剤 | ネオニコチノイド        | 4A      |
|      | カスケード乳剤   | ベンゾイル系尿素        | 15      |
| ナス   | モベントフロアブル | テトロン酸・テトラミン酸誘導体 | 23      |
|      | プレオフロアブル  | ピリダリル           | UN      |
| ネギ   | ベネビアOD    | ジアミド            | 28      |
|      | コルト顆粒水和剤  | ピリフルキナゾン        | 9B      |

※農薬を使用する際は、ラベルを十分にご確認下さい。

### 写真 ウイルス病を伝染する雑草の例



ハコベ



オランダミミナグサ



ホトケノザ



カタバミ

写真提供：HP埼玉の農作物病害虫写真集